

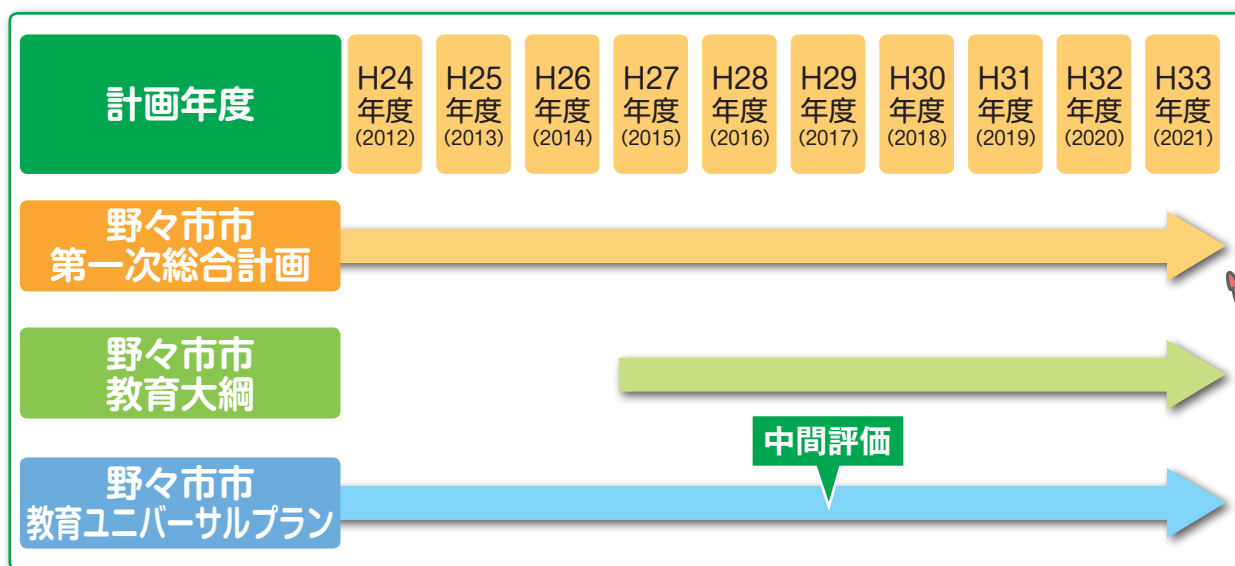
中間評価及び見直しの趣旨

野々市市教育委員会では、平成24年3月に、本市の教育に関する施策を総合的かつ具体的に発展させるための指針として「第2次野々市市教育ユニバーサルプラン」（教育振興基本計画）（以下、「計画」という。）を策定しました。

本計画は、平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間としておりますが、計画を効率的に実施するため、平成29年度に中間評価及び見直しを図ることとしております。

また、平成25年に国の「第2期教育振興基本計画」が策定されたほか、平成28年に県の「第2期石川の教育振興基本計画」、平成29年に本市の「野々市市第一次総合計画【中間見直し】」が策定されております。

このような状況を踏まえ、本市がめざす「みんながキャンパスライフを楽しむまち」を実現させるため、総合的かつ計画的に取り組むべき施策について整理をし、その中間評価及び見直しをするものです。



中間評価及び見直しの方法

基本的施策ごとに設定した「想定される事業」について、次の事業区分（評価）により中間評価を実施しました。また、これまでの取組み事例や課題、今後の方向性について検証し、教育を取り巻く社会環境の変化に対応するための見直しを行いました。

事業区分 (評価)	A：すでに実施している事業で、今後も継続
	B：すでに実施している事業で、さらに充実
	C：新たに実施する事業で、計画期間内に実施
	D：新たに実施する事業で、計画期間内に実施検討

●成果指標について

各事業で数的指標の可能なものを成果指標として設定しています。

成果指標とは、各事業の達成状況を計る指標（モノサシ）です。

成果指標の「現状値」は平成28年度の実績値、「目標値」は目標年次（平成33年度）に目標とする値です。

